

20240618 ウェルビーイングを進めよう！ フードパントリーを五小でも！！

昨年度末、5年生（現6年生）では、「ウェルビーイング」をテーマに、学習をすすめました。自分さえよければいいというのではなく、自分も他人も共に笑顔になれることが大切なのだと、それこそがウェルビーイングなのだと、こどもたちは、持続的な幸せを捉えました。それを実現していくためには、より多くの人、より多様な人となつながら合い、交流し合っていくことが大切なのではないかと考えて「ウェルビーイングフェスタ」を開催しました。開催にあたり、近隣の幼稚園、福祉施設、子ども食堂などに、こどもたち自身が連絡をし、主体的につながりをつくっていきました。

その「ウェルビーイングフェスタ」で私が最も印象的だったこどもの言葉にこのようなものがありました。

「子ども食堂のための募金活動を行っています！」
「みなさん、どうぞご協力をお願いします！」
「無理に募金をしていただけなくても、ほんの少しでも私たちの話を聞いてください！」
「子ども食堂について、もっと知っていただきたいです！」
「どうぞ、よろしくお願いします！」

この子にとって、このフェスタは何だったのでしょうか。
このフェスタで何を伝えようとしていたのでしょうか。
この子の心をとらえたのは何だったのでしょうか。

フェスタの前に、こどもたちは、人と人をつなぐ活動をしている様々な人や団体を調べていました。そして、その方々を実際に学校にお呼びして直接お話を伺う活動をこどもたちはしていたのです。

「子ども食堂」を選んだグループは、移動式子ども食堂「カモミール」とつながりました。「カモミール」の代表は、元本校の調理士さんです。グループのこどもたちは、調理士を定年前に退職してまで実現したいと思った子ども食堂

への思いを直接ご本人から伺いました。調理士時代に家庭環境や経済的に恵まれない子どもたちと接するうちに「自分にできることはないか」と考え、「料理を通して子どもたちを笑顔にできれば」と子ども食堂に思い当たったと話されました。**2020 年 3 月**に退職してこの活動を立ち上げたのは、コロナ禍による全国一斉休校の直後でした。

先日、その「カモミール」の代表の方から、ぜひ五小でフードパントリーを行いたいと、ご相談をいただきました。「カモミール」は、子ども食堂の活動のほかに、このフードパントリー事業も行っています。

フードパントリーとは、誰もが食に困ったときに無償で食の支援が受けられる場所（活動）です。フードパントリーで提供する食品は、各家庭で余ったものや、売れ残った食品、地元農家や企業からの提供品などです。

「カモミール」の活動を続ける中で、代表の方は、想像以上に貧困が深刻なことを感じたそうです。一般に一人親世帯が支援の対象と思われがちですが、二人親世帯が深刻な貧困に陥ってしまっていることも珍しくないそうです。二人親世帯には行政の支援が届きにくく、放置されてしまっている実態があるということでした。子ども食堂では、こどもは無料です。大人でも 300 円払えばサービス（食の提供）を受けられます。しかし、この 300 円が厳しい方もいらっしゃるとのことでした。

「見えていないだけです！」

「本当に困っている人は、声すら上げない！」

「カモミールの取組をやって、こうした人たちとはじめて繋がることができました」

と、語ってくださいました。

フードパントリーを進める上で肝心なのは、食品の回収システムを確立することです。「カモミール」は、地元農家や支援者とのつながりの他に、ファミリーマートとの連携を行いました。ファミリーマートの店内にコンテナを置かせていただいて、そこに地域の方々に余った食品を入れてもらうというものです。これを「フードドライブ」といいます。毎月、決められた日に集まった食品を回収します。市内 11 か所の店舗が協力に応じてくれました。

五小の近辺では、光が丘商店街のファミリーマート、花小金井 2 丁目のファミ

リーマートです。食品ですから、ルールが大切です。消費期限を2か月以上残しているものでないとコンテナには入れられません。ですから、内容として

- ・調味料
- ・缶詰
- ・乾物 など

が多くなるとのことでした。

回収した食品は、たいてい1時間ほどでほぼなくなるとのことでした。

「この取組をぜひ五小でやりたいんです！」

「できたら、去年フェスタをやったあの子たちとできたらと思います」

「でも、無理はしないでください」

「花小金井地区にも、ニーズはあります」

「カモミール」のこうした活動に学校として協力できることは、とてもありがたいことだと思います。

具体的な日程として、

夏休み中の7月28日（日）11：00～

で、調整しました。

会場は、増築棟1Fの多目的室を使っていただくこととしました。お客様は、校舎内は通らず、外に面したサッシ窓から出入りしていただきます。

夏季休業中でなおかつ日曜日ということで、教職員の皆さんの参加は難しいと思いますが、もし来校していたら、ぜひ覗いてみてください。

2年生はまち探検、これから3年生はお店探検をすすめると思います。そのときに、フードドライブを行っているお店として、ファミリーマートと連携を図っていてもいいと思います。「もったいない」「食品ロス削減」「貧困対策」等、様々な学びが、この取組に詰まっています。連携は、早いもの勝ちではありません。必要な学年は、どんどん連携を申し出て繋がって欲しいと思います。もちろん「カモミール」との連携も、学年を問わずこれから更にすすめていってもらえたらと思います。

こうした方々から受ける刺激は、「これから私たちがつくっていききたい未来に向けての思索」を深めていく素晴らしい学びにつながると思います。